

# すわ 市議会だより

発行/諏訪市議会 編集/議会だより編集委員会 〒392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30 TEL0266-53-0261(直通)

諏訪市ホームページ <http://www.city.suwa.lg.jp>



5月臨時市議会、6月定例市議会・・・2P	常任委員会報告・・・・・・・3・4P
代表質問(4議員)・・・・・・・5Pから	一般質問(10議員)・・・・・・・7Pから
請願・陳情審議結果・・・・・・・11P	議案審議結果・市議会解説コーナー・編集後記・・・12P

四賀小学校運動会

## 新議会スタート - 5月臨時市議会において正副議長人事など議会構成決まる -



議長 水野 政利

この度、歴史と伝統ある、第38代諏訪市議会議長の就任にあたり、市民の皆さまにご挨拶申し上げます。もとより、せんがくひさい浅学非才の身で恐縮ですが、議長職務の重要性と責任を真摯に受けとめ、議会をはじめ行政や市民の皆さまと連携するなかで、市民の負託にお応えできるよう、全身全霊で奉仕してまいります。

私は、初当選以来、住民が自らの意思と責任で地域のことを決定する、地方自治のあり方が必要であるとしてきました。今後も「一人の人のために」を原点に、私心を捨て、生活者の目線で地域住民に奉仕するために、現場第一主義、誠実な対話で市民の声を市政に反映すると、政治姿勢を堅持してまいります。どうか、市民の皆さまの温かいご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

私は、初当選以来、住民が自らの意思と責任で地域のことを決定する、地方自治のあり方が必要であるとしてきました。今後も「一人の人のために」を原点に、私心を捨て、生活者の目線で地域住民に奉仕するために、現場第一主義、誠実な対話で市民の声を市政に反映すると、政治姿勢を堅持してまいります。どうか、市民の皆さまの温かいご支援ご協力を心からお願い申し上げます。



副議長 山田 一治

副議長就任のご挨拶を申し上げます。議会は、市民を代表する決定機関であり、市民のニーズに応えるべく、常に市民の目線で意見を的確にとらえていきます。また新しい方向性を目指し、市政に反映しながら、事業推進のため

鋭意努力するとともに、議会改革に積極的に取り組みます。市民皆さまのご理解とご協力をいただきながら協働で市政発展のため頑張っております。

一方、執行機関である行政に対しては、チェック機能として常に機会を捉え、議会と行政が連携して市民に対して透明性の高い市政運営に努めてまいります。

厳しい社会情勢や経済情勢のもとで、議長共々、重責を全うしてまいります。よろしくご支援くださいますようお願い申し上げます。

# 5月臨時市議会

5月8日に行われた臨時会で、議会人事構成が決定されました。

◇議長 水野 政利  
◇副議長 山田 一治

◇常任委員会

(◎委員長 ○副委員長 以下同じ)

▲総務産業委員会

◎金子 喜彦 ○森山 広  
宮下 和昭 横山 真  
井上 登 廻本多都子  
山田 一治

▲社会文教委員会

◎有賀ゆかり ○伊藤 浩平  
平林 治行 奥野 清  
増澤 義治 藤森 守  
小林 佐敏

◇国道バイパス特別委員会

◎奥野 清 ○横山 真  
宮下 和昭 井上 登  
森山 広 小林 佐敏  
金子 喜彦

◇議会運営委員会

◎横山 真 ○宮下 和昭  
有賀ゆかり 藤森 守

森山 広 金子 喜彦  
◇監査委員  
小林 佐敏

◇一部事務組合議会議員

▲諏訪市・茅野市衛生施設組合議会議員  
有賀ゆかり 井上 登  
奥野 清 森山 広

▲諏訪中央病院組合議会議員  
増澤 義治

▲諏訪南行政事務組合議会議員

森山 広 廻本多都子  
金子 喜彦

▲湖周行政事務組合議会議員

水野 政利 有賀ゆかり  
藤森 守 小林 佐敏

◇諏訪広域連合議会議員

水野 政利 宮下 和昭  
増澤 義治 藤森 守  
森山 広



# 6月定例市議会

平成25年第3回(6月)定例会が、6月3日から6月18日までの会期で行われました。

今定例会には、同意1件、諮問1件、報告3件、議案6件、議員議案5件がすべて同意、可決されました。

## <6月定例会の日程>

6月 3日 本会議 (議案上程・説明、陳情付託)  
6日 本会議 (議案質疑・付託)  
10日 本会議 (代表質問、一般質問)  
11日 本会議 (一般質問)  
13日 常任委員会  
18日 本会議 (委員長報告・質疑・討論・採決)

# 議案審査 総務産業委員会

第3回（6月）定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

## 条例新設2件、一部改正2件、一般会計補正予算1件、市道路路線の廃止1件について可決。陳情1件採択。請願1件不採択

◎諏訪市常勤特別職の職員等の給与の減額に関する条例を定めるについては賛成多数で可決

4月28日の霧ヶ峰高原再生火入れ事業での、林野火災の責任を負う立場である、市長と副市長の7月及び8月の2ヶ月分の給料を10%減額する条例を定めるもの。

討論では「市長が自ら決めたのか・10%減では少なすぎるのではないかと」で反対。「妥当な額である・実行委員会の検証は終了・透明性は確保されている・被害拡大はないと考えられる」で賛成と意見が分かれ、反対2、賛成4で賛成多数可決。

◎諏訪市新型インフルエンザ等対策本部条例を定めるについては全会一致で可決

新型インフルエンザ等対策特別措置法が、平成24年5月11日公布され、平成25年4月13日に施行されたことを受け条例を制定するもの。

質疑では「命令系統や組織図はできているか」、「本部長は職務を理解しているか」等があり、全会一致可決。

◎諏訪市一般職の職員等の給与に関する給与の種類及び基準を定める条例の一部改正については全会一致で可決

従前の災害派遣手当に新型インフルエンザ等緊急事態派遣手当を新たに追加するというもの。質疑では「危険手当的な部分も加味されたものか・3,970円～6,660円と幅広いのはなぜか」等があり、全会一致可決。

◎諏訪市道路占用等に関する条例の一部改正については全会一致で可決

道路法施行令一部改正を受け、市道上等に設置する太陽光及び風力発電設備の占用料単価を1㎡につき1,300円と定めるもの。質疑では「他県や県内各市の状況は・占用料の算出方法は・対象となる設備は」等があり、全会一致可決。

◎市道路路線の廃止については全会一致で可決

四賀飯島地区の個人宅の出入りのみに使用されている市道の廃止をするもので、区及び近隣の同意を得ている。質疑では「所有者は知らなかったのか・分筆登記はされているのか・他にもこのような事例があるのでは」等が

あり、全会一致可決。

◎平成25年度諏訪市一般会計補正予算（第1号）については全会一致で可決

歳入では、繰越金として5億4千86万2千円を計上。歳出では、総務費の補正3億9千692万3千円で地域・行政情報化推進事業費、基金への積立金、コミュニティ助成事業費等に係る追加経費の計上の他、林道田辺線の舗装、パノラマツアーサイト整備事業、通学路のグリーンベルト設置工事費、道路改良事業費及び橋りょう長寿命化事業費、小規模河川改修費、消防小型ポンプ購入費補助金に係る追加経費等の計上です。質疑では「林道の舗装について強度確保や適度の水切り設置・消防ポンプ購入補助額の見直し」等の検討要望があり、全会一致可決。

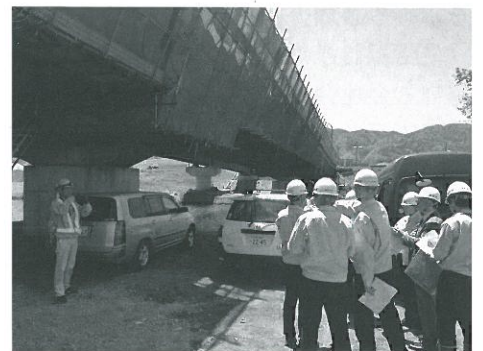
◇デフレ不況からの脱却と地域経済の振興に向けて最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める陳情は全会一致で採択

諏訪地区労働組合連合会からの陳情で、内容は最低賃金の大幅引上げ、中小企業への経営支援策を拡充することなどを求めるもので、全会一致採択し意見書を提出することになりました。

◇TPPへの参加に反対する請願書は不採択

農民連諏訪農民センターからの請願。討論では「経営そのものだけでなく、安全保障にも関係してくる・国内の農業施策も示されている・昨年と状況が異なる・2国間交渉、多国間交渉ができる・保険等も日本の保険は守られる」で不採択。

「11カ国メンバーのなかでは日本は無条件で飲み込まれ意見も言えず、地産地消もできない」で採択。不採択4、採択2で不採択。



上川新六斗橋 橋りょう工事視察

### 議員議案提出（意見書関係）

○循環型社会形成推進交付金の十分な予算確保を求める意見書

○循環型社会形成推進交付金の十分な予算確保について国に対する要望を求める意見書

諏訪市、岡谷市及び下諏訪町では、ごみ処理を広域的に共同で行うことにより循環型社会を構築する計画を進めております。この事業の財源となる交付金の十分な予算確保を求める意見書を国、県に提出します。

次のページへ →

# 議案審査 社会文教委員会

第3回（6月）定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

## 一般会計補正予算、賛成多数で可決

### 請願1件が賛成少数で不採択に。陳情2件を全会一致で採択

◎平成25年度諏訪市一般会計補正予算（第1号）は賛成多数可決

湖周クリーンセンター建設に関する債務保証、生活保護システムの改修の2点で意見が別れました。

消費者相談員の研修、こころの郷への補助金、保育ニーズ調査費用、生活保護費のシステムの改修、地下熱エネルギー検討経費、下諏訪町清掃センター改修費、小中学校の理科教育整備、諏訪中学校受電設備の地盤沈下対策工事、視石青少年広場の手洗い場設置、湖南・四賀公民館の排水管改修などが提案されました。また、湖周3市町のクリーンセンター建設開始に伴い、諏訪市負担金を担保するための債務保証を行います。

討論では「湖周のごみ処理施設の建設・運営は、共同で行うことや負担割合・収集方法などに問題があり、金額明記のない長期の債務負担行為にも反対である・生活保護引き下げは生活困窮者にとって極めて厳しく、物価低下の根拠とする試算も生活にそぐわない。システム改修事業については問題がある」で反対。「湖周ごみ処理施設に関しては様々なものをクリアしてきた。見えない部分もあるが最大限の努力を行っており、早期に実現できることを願う・生活保護システム改修は3市共同事業の諏訪市分なのでやむ得ない」で賛成と意見が分かれ、反対1、賛成5で賛成多数で可決。

◇生活保護の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める請願書は不採択

生活保護基準の引き下げを受けて、長野県生活と健康を守る会連合会から提出されました。

不正受給はごく一部であり、物価算定基準も生活保護

を受ける人の生活実態とはかけ離れており、引き下げは不当であるとして、国に対して引き下げをしないよう求めています。

討論では「不正受給はあってはならない。低年金者・最低賃金労働者などとのアンバランスは是正必要。生活保護受給金額のみでなく、制度全体として検討すべき」などにより不採択。

「異例の大幅引き下げは最低限の生活すら否定する。生活保護費は他の制度の基準で、影響も大きい。不正受給はごく一部であり、生活実態とは離れている」で採択すべきとの意見があり、不採択5、採択1で不採択。

◇35人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情および「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する陳情は全会一致で採択

例年教職員組合から提出されている陳情ですが、教育に関する課題は尽きません。全会一致で採択し意見書を提出することになりました。



豊田小学校整備工事現場視察

#### 同意第2号

諏訪市等公平委員会委員の選任について  
三澤 清司氏の選任に同意しました。

#### 諮問第1号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるについて  
田村 まさこ 方子氏の推薦に同意しました。

#### 議員議案提出（意見書関係）

○デフレ不況からの脱却と地域経済の振興に向けて最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書

最低賃金の引上げ、中小企業への経営支援策などを求める意見書を国に提出します。

○35人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書

○「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書

学校教育関係の改善を求める意見書を国、県に提出します。

# 代表質問

代表質問は、各グループの政策上の問題などについて質問するものです。

掲載の内容は、主な質問と答弁の要旨であり、代表者の文責によるものです。



## 霧ヶ峰、諏訪湖の位置付け グリーンシティ構想 入園児の保証人制度 東バル跡地問題

新風会 平林 治行

**問** 諏訪市として、自然資源である霧ヶ峰や諏訪湖の位置付けをどうとらえているか。

**答** 霧ヶ峰は草原を保ちながら、ほかと違う自然であることをアピールしていきたい。諏訪湖は、問題をひとつずつ解決しながら、いい形で後世に残していきたい。

**問** 諏訪グリーンシティ構想事業の目的、今後の取り組みは。

**答** 温泉熱や地下熱などグリーンエネルギーを冷暖房に活用する事業、本年度実証実験のための基礎調査をし、平成26年度に実験実施したい。

**問** 保育園、小学校の滞納や未収金対策に、保証人制度導入の考えは。

**答** 保育料の保証人は、法的に微妙と考える。専門徴収員を増員配置するなど対応していきたい。県下で4市ほどと聞く。慎重に見極めたい。

**問** 東バル跡地問題の進捗は。市長の任期中に跡地利用について目鼻だけは付けたいとの話は。諏訪美術会が東バル跡地に県の美術館誘致を要望したいとの報道があると聞くが。

**答** 資金計画を見直し、宅地分譲や大口寄付を取りやめることを決めた。活用については、温泉リハビリ施設誘致や諏訪日赤病院拡張が浮上し、地域医療が先行すると考える。敷地内にある建屋については現在工業メッセなどに限定されている。利用方法を拡大し企業の展示場やスポーツの練習なども対象に、年度内に県へ変更申請をしたいと考えている。県の美術館誘致についてはまだ聞いていない。

**問** 食前諏訪サラダミニ事業について、現在の進捗状況、市民の反響は。

**答** 飲食店や関係団体と第1回会合を行い、提供する皿などについて提案等話し合い、好意的に受け止められている。



東バル跡地



## 国道20号諏訪バイパス 建設促進について

新風会 奥野 清

べき課題の明確化と、その解決策の検討。そのために、複数回のアンケート調査が実施される。その実施時期については現在未定。

**問** 期成同盟会と連携した今後の推進計画、活動計画は。

**答** 調査予算が付いたことを含め、各地区へ、バイパス問題の現況説明に6月下旬頃から出向く。地元の合意形成が最重要課題。地域住民に国の情報を丁寧に伝え、国の動きに合わせた活動をもって、地元とのコンセンサスを得ていく。

**問** 大きな転機だと思います。市長自ら地域に出向いて説明する必要があると思いますが。

**答** 今は日程的に難しい。7月予定している「市長と語る夕べ」のなかで、時間を設けて報告やお願いをしていく。また、進める過程で難しい問題等が生じてくれば、もちろん出向いて対応する。

**問** このたび、国土交通省の調査予算が付いたが、国道20号諏訪バイパス建設促進に対する市長の今のお気持ちは。

**答** 国からの予算付けに感謝する。諏訪バイパス建設は、何十年にわたる悲願であり、建設促進に向けた国への要望活動も11年を越えている。また、近年の市民要望変化に伴い、今年から市の体制を強化した。バイパス建設促進期成同盟会、市議会等との協力のもとで早い着工に向けて進めていく。

**問** 都市計画決定済み区域でボーリング調査が行われた経緯があるが、主管機関と目的、また調査結果とその報告は。

**答** 長野国道事務所主管で、バイパス建設に必要な地質調査が目的。良質な地層が確認できた。結果は20年度文化センターで報告済み。

**問** 計画段階評価の内容と、実施機関、また、時期については。

**答** 新規事業採択調査の前段で、国土交通省が独自に取り組む対策。目的は、地域住民合意を得る中で解決す



バイパス中央要望のようす



## 2013年度の国家予算は 地方自治体の財政に どう影響するか

日本共産党諏訪市議員団 廻本多都子

**問** 長引く景気の低迷と国民の所得減は、市の税収にも影響を及ぼしています。地方の財政は苦しくなる一方ですが、国の予算は補正も含め大幅な増額予算になっています。そのなかに「地域元気作り事業費」があります。この交付額を決定するのに、これまでの人件費削減努力が重視されます。

このようにして生み出された財源は市民要望に沿った事業に使うべきだと考えますが、職員給与と合わせて市長の考えはどうですか？

**答** 交付減と給与削減の願いはおかしいと思っています。近隣市との関係もあるが、個人としては引き下げるべきではないと考えています。

**問** 地域の元気臨時交付金は、建設事業が対象ですが、市の対象事業と市の事業費はどれくらいになりますか。

**答** ①老人福祉センターの耐震改修 ②市の体育館の耐震改修 ③林道整備で事業費合計は8,896万円です。

**問** その事業費に対して国からの交付額はどれくらいになりますか。

**答** 市は財政力が高いため事業費の75%くらいで、約6,589万円です。

**問** その交付金を市民要望に沿った事業に使用することはできないですか。例えば、市庁舎全体で考えると本庁舎にはエレベーター設置されていますが、移転した水道局と建設部には設置されていません。特に水道局の階段はとても急です。車椅子や杖などを使用している来訪者には利用しにくい状態です。市民・障がい者に開かれた利用しやすい庁舎を考えてください。

**答** エレベーター設置には、設置場所・動力・耐久力度など困難な問題がある。

**問** 障がい者にやさしいまちづくりには、バリアフリー化なども必要です。市役所玄関のバリアフリーや身障駐車場の増設と、窓口カウンターの高さも車椅子の高さに合わせるなども考えてください。

**答** 駐車場は6台に増やし市庁舎のローカウンターは半分設置しています。これらの要望は急迫した課題としてとらえていない。新規事業としては考えていません。

**問** 障がい者福祉推進のまちを宣言している諏訪市です。元気臨時交付金の国の要綱には「来年度事業に振り替えてもよい」とあるが、取り崩した基金への補充や起債の減額に回すのではなく、市民に利用しやすい庁舎や市民要望に沿った建設事業に使うよう再考を要望します。



エレベーター設置が要望される庁舎別棟

**答** 気象情報に注意し、最終的には運営委員会で決定する。

**問** SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)などを活用して防災・減災のための双方向の情報発信を。

**答** メディアセンターから様々な情報を発信する。双方向は難しい。

**問** チケット流通の実態は。

**答** 印刷数43,000枚、有料席販売30,000枚、協賛者席6,000枚、招待席7,000枚。

**問** 全体の1/6にもあたる招待席の内訳は。

**答** 把握していない。

**問** これまで活用してきた旧工場建屋が解体、花火関係資材・備品管理をどうするのか。

**答** 今後の課題。

**問** 30t(H22)のごみの減量状況は。発生抑制の検討を。

**答** 減少傾向であり昨年は26t。ごみ処理をすることもおもてなし。

**問** 来場者数、動

員数、予算規

定



花火大会用の資材



## 諏訪湖上花火大会は 市民祭なのか TPPの影響と今後の 農業政策は

無所属の会 有賀ゆかり

**問** 大イベントとなり、かえって市民意識とはかけ離れている。観光イベントとの違いは何か、市民花火大会としての意義について市長の所見は。

**答** 諏訪市が主となって行うイベントであり、色分けしない。市民にとっては大きいイベントがあることが誇り、やる以上失望させない。

**問** 花火大会プログラムに意見はがきやアドレスを記載するなど、広く意見を募集してはどうか。

**答** プログラムの変更は考えていない。

**問** 市民の満足度はどうか。高齢者、障がい者、子ども連れ等の優先席を。

**答** 市民枠の倍率は一般よりかなり低い15倍であり、現状では最善。車椅子用の席は対応する。

**問** 当日ばかりでなく準備段階で児童の見学機会を設けるなど有効ではないか。

**答** 安全上難しい。

**問** 安全対策、特に強風への備え、実施の判断は。

模など、既に市民祭としての規模を超えている。中長期的に今後のことを考える仕組みをつくるべき。

**問** TPPへの参加について諏訪市における各分野への影響は。

**答** 内容がわからず把握できない。農業は心配。中小企業にはメリットが見えにくい。

**問** 「農業」について市長の考えは。

**答** 農地が無くなってしまったら困る。集約化することが大切。

**問** 農業は国家的安全保障であるとともに生活、地域づくりの営みでもあることを認識し大切にしてほしい。

# 一般質問

## 市政のここが聞きたい

市政全般について議員が自由に質問できる一般質問の制度があります。6月定例会では10人の議員が各方面にわたって質問を行いました。掲載の内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。



**生活保護法が大改悪される市の対応はどうか  
湖周ごみ施設の建設へ進んで良いのか**

藤森 守

**問** 生活保護法が大改悪され、扶助費の切り下げ6.5%、3年間で670億円が減らされます。更に保護申請にあたって、書類提出義務付けと扶養義務者への調査権限の強化によって、申請をためらう人が増えると心配されています。市福祉事務所窓口ではどう対応しますか。

**答** 139世帯155人が受給している。書類提出は最終的に必要だが、申請時になくても良い。扶養義務者の件は申請受理要件にしない。申請受付は今までどおりとします。

**問** 生活保護の基準が他の14以上の制度の基準になっている。住民税非課税から課税になる人が出る。最低賃金を上げる根拠を失わせ、就学援助制度への影響など様々な否定面が出ます。セットで提案されている「生

活困窮者自立支援法」は就労困難な人にも中間的就労を強制することによって、精神的に追い込み生活保護から追い出すことになる危険があります。市長はどう考えていますか。

**答** 全国市長会で自治体の意見を聞くこと、保護費は国が全部出すべき等決議している。庁内では制度のすき間を埋める等、丁寧な対応をするよう指示しています。

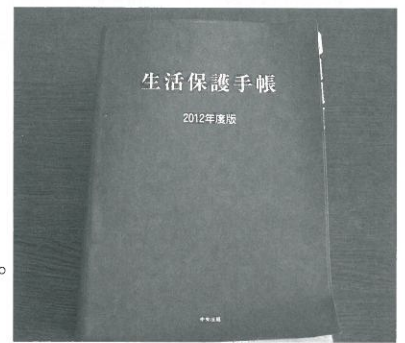
**問** 行政事務組合への負担割合は諏訪市が大変不利。収集したごみの運搬も各市町の負担であり不平等。このまま施設建設へ進んで良いのか。

**答** 事業を進めるため政治決断した。

**問** 三市町の信頼関係はあるのか。将来にわたって禍根を残すことにならないか。

**答** 痛みは分かち合わなくてはいけない。

**問** 諏訪市単独の処理施設で組合からの離脱を求めます。



厚い生活保護マニュアル

なる訳でもない。将来的には研究をしなければならないと思っている。

**問** 市民税の滞納状況、収納率は。

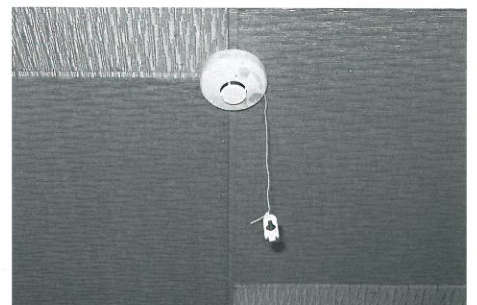
**答** 2012年度の市税の滞納繰越見込みは、4億6500万円減少する見込み。収納率は、11年度91.7%、12年度93.5%、以前は90%を切っており改善している。

**問** スマートインターチェンジ(SI)の調査結果は。

**答** インターチェンジの形状、アクセス道路、計画交通量、採算性などを調べた。アクセス道路が急傾斜地で、設備の建設スペースが限られるのが課題だ。

**問** 火災警報器の取り付け状況は。

**答** 23年7月現在61%、未設置は39%、新聞、広報などで啓もうする。



住宅に設置された火災警報器



**・広域連合について  
・税の徴収状況は  
・SIの調査結果は  
・火災警報器の設置状況**

宮下 和昭

**問** 諏訪地域の観光振興は。

**答** 観光圏整備は富士見町、原村が離脱し「諏訪観光圏設立」は断念した、民間主導の組織で対応をお願いしたい。

**問** 諏訪地域の文化・美術界、工業会、体育連盟などが、県立の文化施設を希望しているが、見解を伺いたい。

**答** 声があることは承知している。1市では無理であり、県の財政状況も厳しいと聞いている。6市町村の意思を一つにして、アンテナを高く、情報をつかんでいきたい。

**問** 広域連合を一步進めて、合併について市長のお考えは。

**答** 広域連合の中において合併論議はしない事になっている。合併の声は小さく、合併特例債は使えない状況、合併のメリットが出せない、合併により全てが良く



## 諏訪市の人口変動の 中でのまちづくりについて

金子 喜彦

**問** 将来人口5万人維持への取り組みについて。

**答** 平成22年10月の国勢調査時は人口51,200人、世帯数は20,444世帯であった。平成25年6月1日現在では人口50,348人(852人減)、20,509世帯(65世帯増)であり、人口減少傾向が続いている。自然動態(出生～死亡)は、ほぼ横ばいで、社会動態(転出入)が大きな減である。

対策として「結婚相談や縁結びサポート事業」「妊婦健

診、子育て支援やファミリーサポートを実施」「雇用環境の影響もあるが、経済部を中心に、場合によっては市長のトップセールスも考え最大限努力したい」「人口増加推進室は設置しない」「総合計画の進捗状況は行政評価を施策評価とする。目標指標を数値化し、進行管理を視覚化する」「人口減に市経営を変えるのではなく、10年後人口目標5万人を掲げ努力していく」

**問** 隣組や町内会、区は生活の営みの変化により構成する人口や戸数が大幅に異なり、減少しすぎたり、高齢化したりまた、子供や若者がいなくなるなど、種々の運営や生活に障害が出てきているのではないのでしょうか。しかし昔からの成り立ちなどにより、それぞれ課題の解決が難しくなっている。区割の見直しなどのために「街づくり検討委員会」を立ち上げ将来の街のあり方を工夫してはどうか。

**答** 上諏訪駅周辺には小さな区があるが、各区の歴史があり、市が区の統廃合を進めていくことは困難と考えている。

でいく。また、生ごみ処理機の補助申請が好調で、足りない場合、今後補助の増額補正を考えていく。

**問** 最終処分場の候補地について。

**答** 場所、規模等については慎重に検討していきたい。

**問** 温泉熱等利用について住宅への利用のモデル地区をつくっては。

**答** 最終的にはそれを目指していきたい。まずは26年度に公共施設で実証実験を行いたい。温泉配湯区域がすべてモデル地区となる。

**問** 道路損傷に対する通報の仕組み(モニター制度など)をつくっては。

**答** いかに早く情報を入れていただくかが重要であり、諏訪市にあった仕組みを考えていきたい。



ごみステーションの朝のようす

**答** 言語道断。子どもたちや地域の人たちの信頼を裏切ったことは極めて残念。

**問** 教育長が考える教学相長とは。

**答** 学校社会の特殊性が原因と分析。寛容と厳しき、学びと教へのバランスがいき渡る社会につくり直す一員でありたい。

**問** 小中学校のプールが老朽化、安全性が保たれているか。国の安全標準指針についての対応は。

**答** 独自の安全基準は設けてない。国に準拠し、各学校で水泳学習全体計画を作成し、安全に実施できるよ



## 人口増加推進、ごみ減量、 温泉・地下熱エネルギー、 道路維持について

伊藤 浩平

**問** 人口増加推進についての市長の考えは。

**答** 現在の人口減は不況が起因すると考えている。景気を良くし雇用を増やす事が重要である。団塊ジュニアのお子さんたちが増えていない事が少子化の原因であり、今後続いていくだろう。国家としても人口増の施策が必要である。

**問** 人口減を見据えたまちづくりの今後の考えは。

**答** 人口の減り方が強くなっている。諏訪市の良いサービスをアピールしていく必要もある。基本計画5年の折り返しで考えていくことも必要かもしれない。まずは流失防止を考えていきたい。

**問** ごみ減量について。

**答** 昨年は多くの減量ができた。家庭系より事業系のごみが減ってきており、生ごみの水切りが徹底してきた。今年度2ヶ月で110t減った。今後さらに取り組ん



## 学校プールの 安全性について 諏訪の水系について

横山 真

**問** 教員不祥事が多い。



う対応。

**問** 湖南小学校プール整備事業に対し、安全を最優先した設計委託を。

**答** 全国・他市の状況等、専門的な知識を持つ業者に委託したい。

**問** 材質はFRP(強化プラスチック)が望ましいが。

**答** 設計委託をする場合、原則として工法や材質等限定しない。専門的な知識が市としてはない。

**問** 県の環境改善行動会議や第6期水質保全計画のなかで、共に進める課題は。

**答** 特にヒシ・貧酸素対策。課題は多くの団体に構成され、事業の方向が見出せるか利害関係者との調整など。

**問** 関係地区・小和田牧野との要望に対する結果は。

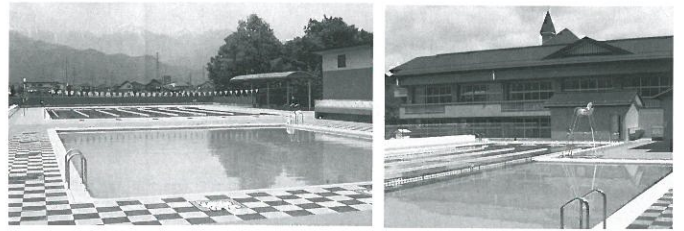
**答** 整備も行っている箇所もあり、必要に応じて対応。

**問** 浸水対策として新築建築物のかさ上げ補助金新設を。

**答** 基準では30cm以上と決められ、これ以上は建築主の判断。浸水深も0.2m~3.0mと幅が広く、対象地域の区分も困難で補助は難しい。

**問** 末広町・大手町の水路について調査・研究等をし、水がつかないように改善策を。

**答** 関係地区と協議を行い、水系調査を実施して対策を検討する。



安全性・耐久性を配慮したFRP製プール

## 第2期計画の進捗状況と成果、今後の課題と第3期計画の策定スケジュール及び策定方法について



増澤 義治

**問** 地域福祉推進にかける市長の<sup>おも</sup>想いを伺いたい。

**答** 平常時における地域のつながり、助け合いの大切さ、防災意識の向上、行政・市民・社会福祉団体等の協働による対応が必要。

**問** 第2期地域福祉計画のなかで「健康福祉のまちづくり」の進捗状況や成果、課題については。

**答** ①健康のまちづくり ②地域文化と福祉のまちづくり ③環境福祉のまちづくり ④生活環境の整備等で健康づくりを推進する。

**問** 「参加と交流と助け合いのまちづくり」の10年間での進捗状況と課題については。

**答** 社会参加活動・地域での交流活動を充実させることで、地域力の向上に努めている。課題は、災害時の支援体制の強化です。

**問** 「在宅・施設サービス」の現況はどうなっているか。

**答** 災害時要援護者避難支援計画の策定により、生活の安全を守るシステムの基盤が構築されている。

**問** 「総合的支援体制」の進捗状況や課題などについてはどうか。

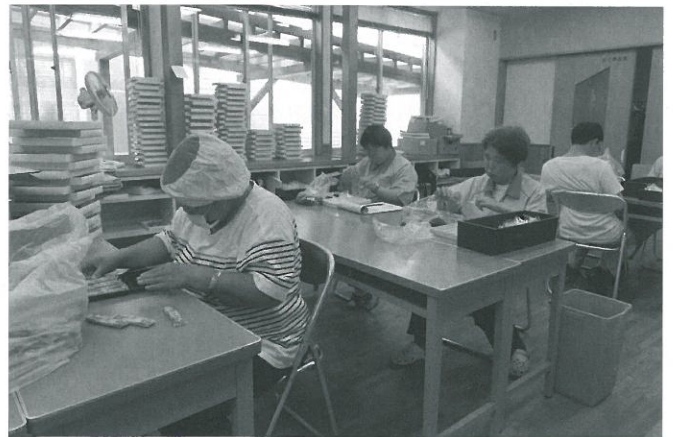
**答** 市内8ブロック内で連携が取れる仕組みづくりを進めています。

**問** 「計画推進体制」の現状はどこまで進んでいるのか。

**答** 市民参加による地域福祉計画推進協議会を設置し、4つの体系の部会を設け進行管理を協議している。専門的地域や技術を持った人材、地域のリーダーとなるべき人材の育成が今後の課題である。

**問** 第3期計画の策定に関する基本的な考え方はどうなのか。

**答** 地域懇談会の開催や住民アンケートを実施し、市民の皆さんとともに考えていきたい。



さざ波の家 障がい者施設作業風景

## 税収アップの具体的な取り組みとふるさと納税(寄付金)について



小林 佐敏

**問** 無理なく自助努力で税収アップにつながる具体的な歳入確保策は。

**答** 市の財政は厳しいが、基金もたまってきており極端な財源不足に陥っていない。事務事業の見直しや機構の簡素化をしていく。使い切り予算からの脱却は継続したい。財源確保は各部局の本来業務であり、全庁通じて取り組みたい。

**問** 歳入確保へ有料広告収入の検討は。今注目されており、市民にいちばん目につく、ゴミ収集カレンダーや可燃ごみの袋、水道検針票に広告を載せるのはどうか。

**答** 収集カレンダーやゴミ袋へは、相当の情報量でスペースに工夫があるが検討はする。水道検針票へは、以前検討し広告を募集したが応募者がいなかった。検討

はしてみる。

**問** ふるさと納税(寄付金)がスタートして5年、寄付すると住民税が安くなる「ふるさと寄付金」を取り込もうと知恵を絞っている自治体が多いが諏訪市の取り組みは。

**答** これまで少し対応が遅れていた。昨年から部局で積極的な取り組みに着手している。

**問** 取り組みの仕方により大きな格差が出ている。寄付金額が多い自治体は職員やトップが積極的な取り組みをしていると聞かすが、今後の取り組みは。

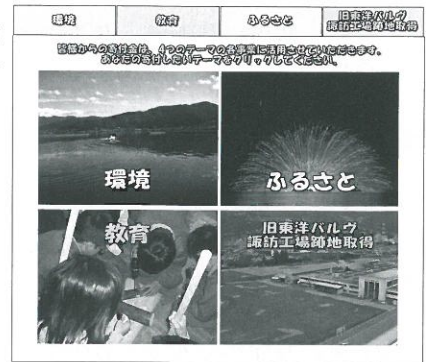
**答** いろいろな具体的PR方策をいま鋭意検討を進めている。

**問** これまでのふるさと納税(寄付金)の寄付金額は。

**答** 平成20~24年度の5年間で119件、2835万3千円。内旧東バル跡地用地取得への寄付金は50件、912万円。

### ふるさと寄付

-ふるさと納税への思いを-



諏訪市HPより ふるさと寄付

## 「諏訪市に住みたくなるまちづくり」について



森山 広

**問** 「住みたいまちづくり」への取り組みと住みたくなるまちについてのアンケート調査の実施・関係団体へのヒアリング等をおこなった実績は？

**答** 総合計画に基づき進めている。また、2年に一度満足度調査を行っており「ずっと住みたい」「しばらく住みたい」が8割を占める結果が出ている。

**問** 具体性のある取り組みをわかりやすくスローガン化できないか？

**答** 「サラダと健康のまち」もキャッチフレーズになるかも知れない。

**問** 市政提言はがきの状況について、どんなことが提言されているかその内容を広報等に具体的に掲載できないか？また、年代別の提言で20代の提言が少ないが、何かよい聴取の方法はないか？

**答** 今後、掲載の方法や聴取の方法を考えて検討していきたい。

**問** 市長と語る夕べは、昨年より区長や地区の役員との話を中心に、参加した市民がオープンに話ができているが内容の変更はないか？

**答** 今年度は昨年同様に行うが来年以降は内容等を見直す予定。

**問** 全県下で空き家が増加し、各市町村で解体執行や補助金を盛り込んだ、空き家対策条例等を制定しているが諏訪市はどうか？

**答** 現在は考えていない。

**問** 消防団と地域企業との連携はできないか？また消防団員への広域的優遇措置は取れないか？

**答** 地域企業との連携はとっていききたいが問題もある。優遇措置

については現在はない。多方面から情報収集して有効なことを考えたい。消防委員会でも意見を参考にしながら検討したい。



消防団 多機能型車両

## 「地域、家庭の安全、防犯灯・火災警報器・ブロック塀対策」「年金確保について」



井上 登

**問** 区や商業会が維持管理している防犯灯に関して、新規設置1万円の補助があるが、多くの自治体で行っているように、維持経費、電気料、取り替えの費用、LED化などにも補助を出してはどうか。

**答** 近隣の市町村を調べて出来ることはやっていきたい。

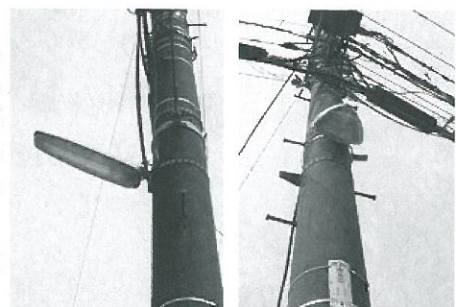
**問** 聴覚障がい者世帯用の火災報知器の設置状況は。

**答** 平成19年以降、日常生活用具給付制度による設置申請は5件で、聴覚障がい者は2件、視覚障がい者は3件。音だけでなく、強い光の点滅や振動により火災の発生を知らせるもので、調査し必要などころには普及させていきたい。

**問** 通学路の老朽化したブロック塀について、安全確認をしているか。

**答** 交通の安全に関して調査したが、ブロック塀など危険箇所についても確認していく。

**問** 撤去費用を補助している自治体もあるが、諏訪市の対応は。



蛍光灯防犯灯

LED防犯灯

LED化が進む防犯灯

**答** 補助金を出す考えはないが、しっかり調べて対応していく。

**問** 年金の免除、猶予制度について説明、広報が充分行われているか。

**答** 分かりにくい制度だが、年金機構が行っているというだけでなく市の窓口やホームページなどでも知らせていく。

**問** 年金確保支援法で昨年10月から2015年9月までに限り、過去10年分にさかのぼって後納できるが、保険料を一括納付しなければならない。保険料を工面できず救済制度を利用できない高齢者が少なくないが、貸付制度ができないか。

**答** 貸したものが、返ってくるか心配だが研究してみたい。

**問** 是非取り入れてほしい。

## 上諏訪駅西口の改修で 利便性を！ 市内諸施設の安心安全 活用のための管理運営を！



山田 一治

**問** 上諏訪駅西口整備について、現在どのように考えておられるか。

**答** 駅西口交通広場整備事業検討委員会として整備は最小限にとの結論が出ており、動きはない。

**問** 最小限ということであるが、できる部分から改修をし、身体障がい者用の乗降場の設置等、利便性を高めてはどうか。

**答** 駅周辺の整備（東口の開発）と重複しない形で検討が必要。

**問** 以前駐車場であった所は、枯れ草やモニュメントの基礎コンクリートがあり、全く整備されていないが、地域の皆様や市民の協力を得て、花だん等にしてはどうか。

**答** 芝などを張っていこうと思っている。本格的に整備するには、再度検討委員会の開催が必要になる。

**問** 市内諸施設の管理運営について。蓼の海が改修されたことに伴い、観光シーズン前に早急に周辺整備を。

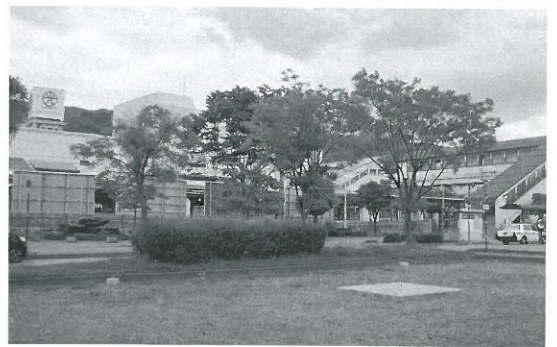
**答** アスレチック施設や遊具の修理に合わせ整備する。ロープを使用している施設は危険防止のため撤去予定。宿泊施設は、既に整備されている。

**問** 体育施設の各体育館の管理運営についての現況は。

**答** 管理はシルバー人材センターに委託しており、教育委員会も巡回し運営を行っている。

**問** 市内体育施設は老朽化しており、利用者の安全対策のための修理修復について。

**答** 全て修理するのは大変だが、順次耐震補強や修理修復に努めている。利用者の安全の確保に向けて、スポーツ課職員が各施設を巡回し、処置・対応に努めている。



上諏訪駅西口の現状

## 6月定例会の提出案件の審議結果

議案番号	件名	審議の結果
議案 第31号	諏訪市常勤特別職の職員等の給与の減額に関する条例を定めるについて	可決（賛成多数）
議案 第32号	諏訪市新型インフルエンザ等対策本部条例を定めるについて	可決（全会一致）
議案 第33号	諏訪市一般職の職員の給与に関する条例及び諏訪市公営企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
議案 第34号	諏訪市道路占用等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
議案 第35号	市道路線の廃止について	可決（全会一致）
議案 第36号	平成25年度諏訪市一般会計補正予算（第1号）	可決（賛成多数）
議員議案 第3号	意見書の提出について（循環型社会形成推進交付金の十分な予算確保を求める意見書）	可決（全会一致）
議員議案 第4号	意見書の提出について（循環型社会形成推進交付金の十分な予算確保について国に対する要望を求める意見書）	可決（全会一致）
議員議案 第5号	意見書の提出について（デフレ不況からの脱却と地域経済の振興に向けて最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書）	可決（全会一致）
議員議案 第6号	意見書の提出について（35人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書）	可決（全会一致）
議員議案 第7号	意見書の提出について（「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書）	可決（全会一致）

# 市議会6月議会で審議された請願・陳情の結果

請願・陳情番号	請願・陳情内容	提出者	採決結果
請願 第3号	生活保護基準の引き下げはしないことなど 国に意見書提出を求める請願書	長野県生活と健康を守る会連合会 会長 大坪 勇 紹介議員 藤 森 守	不採択
請願 第4号	TPPへの参加に反対する請願書	農民連誼訪農民センター 代表 菊池 敏郎 紹介議員 廻本多都子 井上 登	不採択
陳情 第22号	デフレ不況からの脱却と地域経済の振興に 向けて最低賃金の改善と中小企業支援策の 拡充を求める陳情	誼訪地区労働組合連合会 議長 細尾 三佳	採 択
陳情 第23号	35人以下学級の早期実現、教職員定数増を 求める意見書提出に関する陳情書	長野県教職員組合誼訪支部 代表 植松 満幸	採 択
陳情 第24号	「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関す る陳情書		採 択

## 市議会解説コーナー

○二元代表制とは 地方自治体では、首長（市長）と議会議員はともに直接選挙で選ぶ制度をとっています。これを二元代表制といいます。相互のけん制・抑制と均衡によって首長と議会が緊張関係を保ち続けることが求められます。二元代表制とは対照的に、議員内閣制をとっているのが国会です。

## 議会の傍聴に お出かけください

～9月定例会は8月30日（金）  
招集予定です～

詳しい日程については議会事務局までお問い合わせを。  
（TEL 0266-53-0261）

かりんチャンネルで、代表質問・一般質問の音声と静止画像による市議会生中継を行っていますのでご覧ください。

**陳情等は、招集日の一週間前までにご提出を！**

本会議の会議録は図書館、市役所ロビー、市ホームページ、市議会事務局で閲覧できます。詳しい内容については会議録をご覧ください。

## 全国市議会議長会表彰

平成24年度に全国市議会議長会より市議10年以上表彰で水野政利議長、山田一治副議長、平林治行議員、小林佐敏議員の4人。正副議長4年以上表彰で小林佐敏議員がその功績を讃えられ、感謝状を贈呈されました。



## 編集後記

5月議会で役員交代により、新編集委員で皆さまにお届けすることになりました。

市民の皆さまに感心を持ってご講読いただけるよう、編集委員一同、力を合わせ、工夫と研さんに努め、今日まで発行された「議会だより」を基本に、より一層内容の充実した紙面作りに努めます。



## 議会だより編集委員会

委員長	山田一治
副委員長	増澤義治
委員	伊藤浩平
委員	藤森守
委員	森山広